

地域の課題解決 プロボノプロジェクトについて

【事務局】

認定NPO法人サービスグラント

代表理事 嵯峨 生馬

地域の課題解決に取り組む町会・自治会を応援します

「少子高齢化が進展する中で、地域の暮らしをもっと豊かで安心できるものにしたい」

「いつ起きるか分からない災害に備えて、地域のつながりをつくっておきたい」

顔の見えるつながりづくり・幅広い住民が関わるまちづくりに積極的に取り組んでいきたい町会・自治会のみなさまを対象に、会の活動基盤強化を支援します。

**顔の見える
つながりづくり**

**幅広い住民が関わる
まちづくり**

**のびのびと子どもが
育つようなまちにするために
活動を広げていきたい！**

例：子どもの居場所づくり
子ども食堂
土日の遊び場
夏休みのラジオ体操 等

**高齢になっても、元気で
人とつながりながら暮らせる
活動を続けていきたい！**

例：見守り活動
サロン・居場所づくり
配食サービス
健康体操・運動・スポーツ等

**外国人も
隣近所で顔が見えるような
まちにできないか？**

例：外国人の町会・自治会参加促進
地域のお祭りへの参加呼びかけ
外国人向けチラシ 等

プロボノとは

専門的なスキル・経験等を
ボランティアとして提供し、
社会課題の解決に成果をもたらす活動

Pro	For	～のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語の
Pro Bono Publico
(公共善のために)
という言葉です

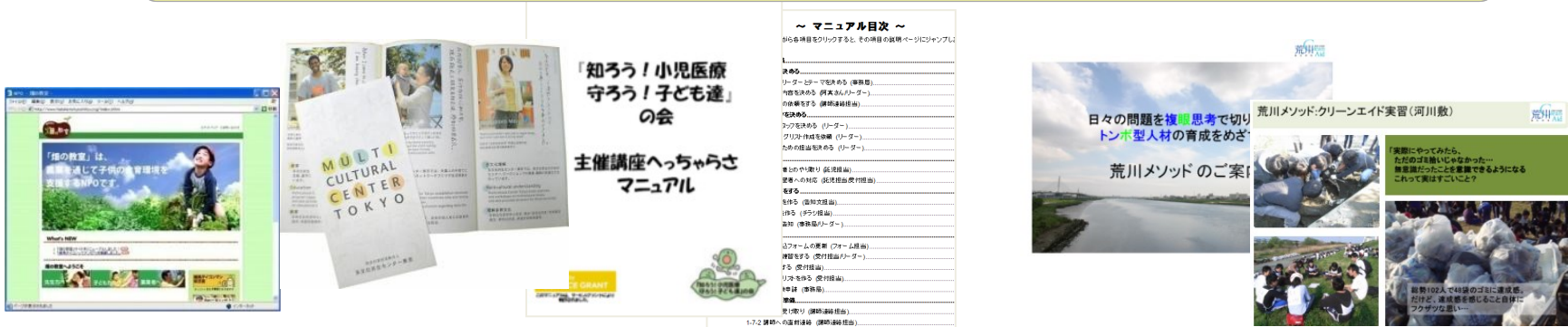
「プロジェクト型支援」で具体的な成果物を提供

プロボノによる支援が、町会・自治会の活性化に効果的に活用されるために、具体的かつ実用性の高い成果物の提供を目標とする「プロジェクト型支援」を行っていきます。



地域の課題解決プロボノプロジェクト
2017年11月～2018年3月
支援先が必要とする組織基盤強化につながる成果物を提供します。

支援先の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物を提供



活動運営に際して抱えるお困りごとの解決に向けて、「プロボノ」による様々なサポートを行います。

町会・自治会が抱える課題・ニーズの例

参加の輪を広げたい

行事の参加者を増やしたい

若い世代に関心を持ってほしい

加入率を高めたい

運営を改善したい

運営の担い手を増やしたい

一部の人の作業負担を軽くしたい

事務作業を効率化したい

活動を刷新したい

新しく事業を企画したい

既存の活動を見直し・改善したい

住民の希望・ニーズを知りたい

プロボノによる支援内容の例

まちの活動を効果的に発信する 情報発信ツールの整備

来てほしい人たちに訴えかける
効果的な**チラシ**

町会・自治会の活動を
分かりやすく伝える**ウェブサイト**

回覧板に代わる新たな情報共有の
ツールとしての**SNS活用**

町会・自治会の運営を改善する 組織づくりのサポート

作業内容の棚卸・整理を行い
作業の見える化・効率化の提案

はじめて参加した人でも無理
なく手伝えるための**マニュアル**

活動の在り方をめぐって一緒に 悩む事業戦略のコンサルティング

住民のニーズや要望を数値化で
把握する**アンケート活用**

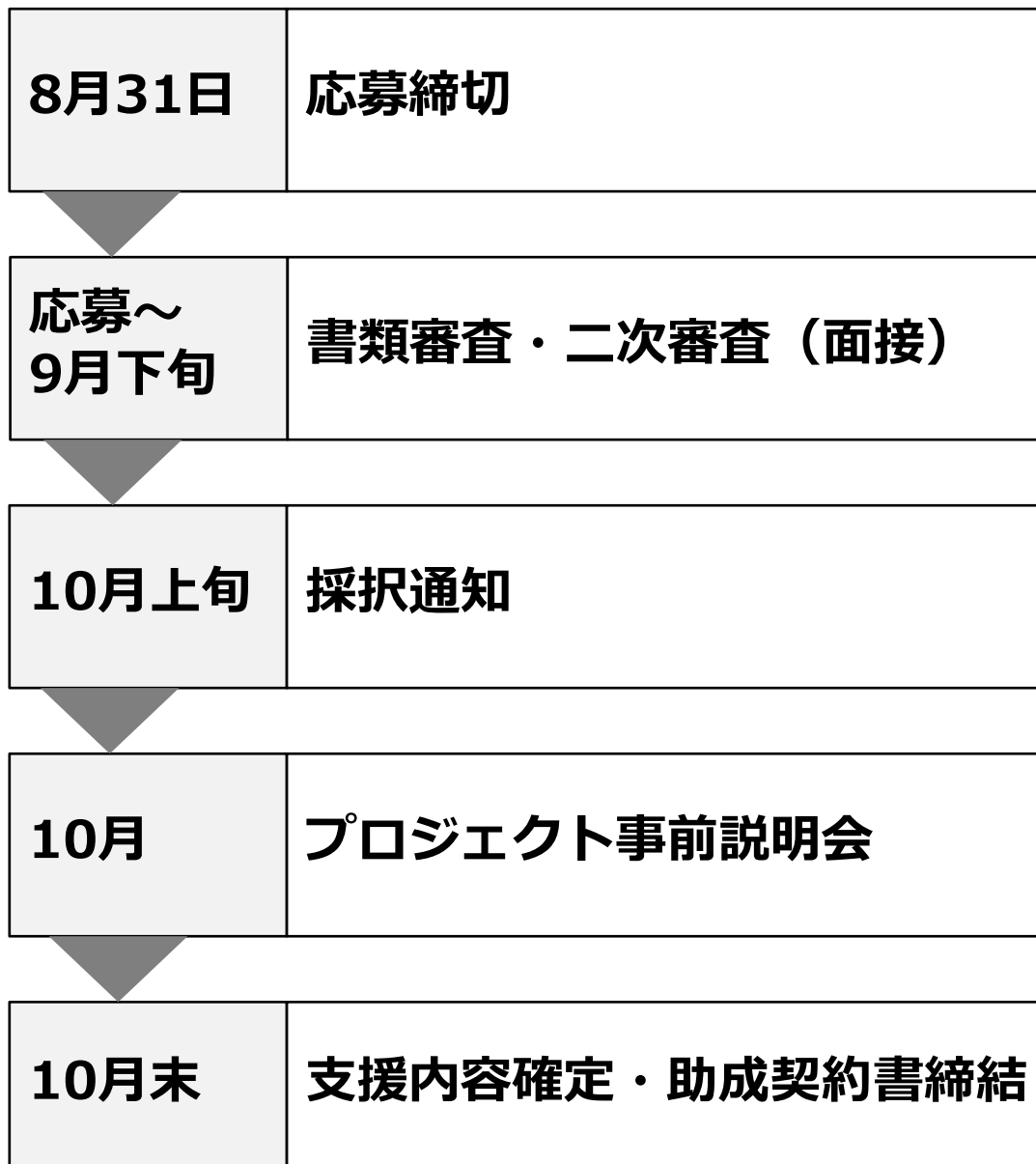
事業の見直しや新しいアイデアを
検証する**マーケティング基礎調査**

平成29年度 プロボノプロジェクト 支援先団体一覧

団体名	プロジェクト名
井の頭一丁目町会（三鷹市）	マーケティング基礎調査
北新宿二丁目町会（新宿区）	SNS活用
小竹町会（練馬区）	ウェブサイト
足立区町会・自治会連合会（足立区）	チラシ制作
大森本町北町会（大田区）	業務フロー設計
北千束中自治会（大田区）	アンケート活用
高島平七丁目町会（板橋区）	アンケート活用
郷地東町連合自治会（昭島市）	アンケート活用

平成29年度のプロジェクトの流れ①

支援決定～事前準備



支援が決定した団体を対象に、事務局による事前説明会を開催。プロジェクトの進め方や留意点等をご説明すると同時に、団体の皆さんからの疑問や不安等を解消するための場です。



支援内容の詳細について、最終確認を行います。事務局と合意の上で支援内容を確定し、契約書を締結します。

平成29年度のプロジェクトの流れ②プロジェクト開始～完了まで

プロジェクト期間

チーム編成完了後、プロジェクト開始

キックオフミーティング
【11月11日(土) 13:30~16:30】
(チームとの初顔合わせ)

ヒアリング・各種調査

チームとのミーティング
(期間中 合計1~3回程度)

成果物納品・プロジェクト完了

プロジェクト期間中、プロボノワーカーは週5時間までを目安に活動を行います。キックオフ以降、チームとの打合せには、団体代表者の方、窓口担当者の方に出席いただいています。



ヒアリングは、団体のメンバーや関係者、その他、団体の活動につながる方などをヒアリング先として紹介いただき実施します。



プロボノワーカーと町会のみなさん①



井の頭一丁目町会チーム



北新宿二丁目町会チーム



小竹町会チーム



足立区町会・自治会連合会チーム

プロボノワーカーと町会のみなさん②



大森本町北町会チーム



高島平七丁目町会チーム



北千束中自治会チーム



郷地東町連合町会チーム

町会・自治会の皆様にとってのメリット

組織運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体活動の展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、組織の活性化につながります

企業等で活躍する人材との交流を通じて、メンバーの活性化のきっかけをつくります。

他地域の町会・自治会の活動を知るきっかけになります

今年度は約10団体を支援。他地域の町会・自治会による様々な活動や取り組みを知る機会にもなります。

専門的で質の高いサポートを、無償で受けることができます

団体の課題解決に向けて、普段接する機会が少ない多様な世代、人材との協働を実現します。

※ただし、ウェブサイトのサーバー費用、印刷物の印刷経費等の実費経費は、団体側の負担です。